

あいさつの通い合う日々を

校長 根釜 恵理子

秋季大運動会やもちつき大会、創立記念式典や学習発表会等々多くの行事があった2学期、子供たち一人一人が輝き、大きく成長した実り多き学期でした。

保護者の皆様、地域の皆様の御協力に心より感謝申し上げます。

校内人権旬間にちなんで、12月3日の全校朝会で、「なぜ、みんなにあいさつをしたほうがいいのだろうか。」という題で話し合いました。

縦割り班ごとに、よく話し合い、いろいろな理由を考えることができました。



レインボータイガー ※ □は、縦割り班のグループ名です。

・みんなが元気になるから ・朝、目が覚めるから ・気持ちがよくなるから ・不審者が逃げるから

ホワイトキャット

・みんなと知り合える。 ・あいさつをしたら気分がよくなる。 ・みんなが平和になる。
・みんなも「あいさつしよう」とまねする。

大谷

・自分も相手も元気になるから ・あいさつをしたらお互いに1日頑張ろうと思えるから

サバビ

・仲を深めるため ・仲良くなるため ・体を起こすため ・不審者にねらわれないようにするため

ドッグ

・相手が気持ちよくなるから ・自分も元気になるから

あいさつは、その人の存在を認める大事な一歩ではないでしょうか。

子供たちが考えた理由にもあるように、あいさつによって元気が出たり、気分がよくなったり、仲良くなったり等々、あいさつにはたくさんの力があります。

年末年始、御家庭や地域であいさつを交わす機会がたくさんあると思います。

子供たちが、明るい笑顔とあいさつで今年一年を締めくくり、明るい笑顔とあいさつで新しい年を迎えられますよう願っています。

サタ小屋の看板完成!

和泊町アグトロスト基金を活用してサタ小屋周辺整備及び看板設置を進めてきました。

12月1日(日)創立記念日にもりあげ隊の野山さんより紹介がありました。看板にはサタ小屋の歴史や黒糖づくりについて5・6年生の子供たちが心を込めて描いた絵も載っています。ぜひ一度看板を含め整備されたサタ小屋を見にきてください。



創立126周年記念式典

<児童代表の言葉>

6年 谷山 あかり

今年、大城小学校は創立126周年を迎えました。今日のこのよき日に大城小学校の6年生として、また大城小学校の代表として、今日の日をお祝いできることをうれしく思います。

大城小学校は、現在までに多くの先輩方が学び、たくさんの思い出や歴史と共に126年を歩んできました。この長い年月には、多くの努力や伝統、思いが引き継がれてきています。大城小学校では、郷土の文化や昔からの伝統を学び、体験することができます。私が毎年特に楽しみにしているのは、米作りと黒糖作りです。普段は、なかなか経験することのできないことですが、地域の方々に教えていただき、おいしいお米や黒糖を作る貴重な経験ができています。このように学び、体験することができるのも、伝統を絶やさずに受け継いできた先輩方や私たちを支え教えてくださる地域の方々、保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

私たちの大城小学校は、1年生から6年生までの仲がよく、思いやりあふれる学校です。また、全校で一輪車に取り組んでいます。朝の体力づくりや昼休みには、みんなで元気に遊んだり、手や肩で支え合いながら一輪車の練習をしたりしています。一人では難しいことでも、上学年下学年関係なく、友達と助け合うことで、できることが増えていきます。私はそんな大城小学校をほこりに思っています。

温かい大城小の友達、地域の方々。私はこれからも素敵な大城小学校であり続けてほしいです。そのために、私たちはもちろんのこと、私たちの後に続く下級生たちにも、大城小学校を大切に思う気持ち、自分を支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを忘れないということを伝えていきたいです。

私たち6年生は、あと4ヶ月で卒業します。大城小学校を離れるのはとてもさみしいです。しかし、大城小学校で学んだことや、これまでの先輩方が築き上げてこられた「負けじ魂」の精神を大切に、残りの小学校生活を送りたいです。



【6年谷山あかりさん】



【創立記念式典の様子】

【島ムニでの自己紹介】

